非戦を選ぶ演劇人の会 　６月３０日高江座り込み６周年集会　上演バージョン台本

**私の村から戦争が始まる**

～沖縄やんばる・高江の人々が守ろうとするもの～

作 清水弥生 瀬戸山美咲

２０１３年６月３０日高江座り込み６周年集会　上演配役

ミサキ・サラ　…占部房子

ヤヨイ　…大月ひろみ

アヤ・糸数慶子　…円城寺あや

防衛局員・防衛局長真部・支援者Ｓ・坂手　…坂手洋二

宮城康博・ゲン・支援者Ｍ　…宮城康博

イサ　…國仲正也

お父さん　…崎浜秀彌

お母さん　…陽紗

ピコ　…大山里紗

作業員・モリオカ・友寄・アーロン　…あつたゆういち

ユキネ　…犬養典子

ナオコ　…宮城愛未

●カメと少女

オオシマゼミの鳴き声。

ミサキ アスファルトの道の先に何かまるっこい塊が見えた。目をこらすと、それはカメだった。道の真ん中でじっと動かないカメ。よく見ると、カメの足には虫がへばりついていた。

ピコ こらー！ ダニめー！

ミサキ 振り返ると小学校中学年くらいの女の子が立っていた。ダニ？

ピコ ダニが血吸ってんの！ こら！ こら！

ミサキ 女の子の名前はピコと言った。ピコはカメに駆け寄ると、カメの足から思いっきりダニを引っぺがした。

ピコ よし！

ミサキ 引っぺがしたダニからカメの赤黒い血がしたたっている。うわあ……。

ピコ （カメに）大丈夫ですか！ 意識はありますか？　ただちに搬送いたします！

ミサキ そう言うとピコはカメを持ち上げ、道のわきのしげみに入って行った。ちょっと待って！

そこは！

ピコ 何？

ミサキ ――そこは、米軍基地だった。

ヘリコプターの轟音。

●高江に行くまで

ヤヨイ ミサキさんも行ってみます？

ミサキ 高江に行ってみないか、と言われたのは、去年の九月の終わり。

ヤヨイ 沖縄の北部に、高江という集落があるんです。

ミサキ 劇作家仲間のヤヨイちゃんは一昨年、高江という集落に取材に行った。ヤヨイちゃんいわく、高江では、米軍のヘリパッドを建設する予定があるらしい。

ヤヨイ その建設に反対して、住民の人たちがもう六年近く座り込んでいるんですよ。

ミサキ 六年……え、六年？

ヤヨイ 一緒に行ってみませんか。

ミサキ うん。気がついたら私はうなずいていた。でもいざ高江への行き方を調べてみて、あまりの

遠さに気が遠くなった。那覇からバスを乗り継いで３時間はかかる。家にあったガイドブックの地

図には高江の地名すら載っていなかった。グーグルマップで調べても、高江のある北部の東側は拡大ができない。まわりが全部基地だから、地図上のほとんどの部分が空白なのだ。

ヤヨイ 私が高江と関わり始めたのは、女優の円城寺あやさんから、話を聞いたのがきっかけでした。

●円城寺さんのレポート

ヤヨイ 二〇一一年の二月、高江に行った円城寺さんから緊急レポートが届きました。

アヤ、高江現場の様子を伝えている。

アヤ 　一一時頃、土嚢を乗せたダンプ、作業車を含めた合計一四台が到着。防衛局・作業員が大挙し

　てＮ１ゲートにやってきました。作業員十数名がネットの隙間から中に入り、バケツリレーで土嚢の搬入しようとしています。……うわっ、あぶない！ 土嚢をダンプから住民の頭越しに投げ入れ

ています。

ゲンさん 作業をやめろ！

アヤ 作業員はみんな若い人でした。一六か一七くらいの、沖縄の人らしい顔立ちをした子ども達。作業員の後ろにいる指揮者の防衛局員は見ているだけ。実際に手を下すのは作業員、お兄さん、止めよう！

作業員 なにするんだよ、押すな！

お母さん 人にぶつけたら傷害罪だよ。

防衛局員 妨害行為はやめて下さい。

ゲンさん 防衛局の人たちよ、自分たちは見てるだけで、こんな若い人たち使って自分を守らせて、何にも思わないわけ。大の大人が。ねえ。

アヤ 作業員がダンプに乗り込んで下にいる作業員に土嚢を渡そうとしています。土嚢って何が入ってるんですか。

お母さん 砂利。重さ二〇キロなのよ！

アヤ ええっ、二〇キロ！？ 危ない！ 住民と支援者が腕を組んで阻止し、土嚢を奪ってダンプに投げ返します。ダンプの周辺は押し合いへし合いになっています。

お母さん （作業員に）ねえ、どうしてこんなことするの。あなた、自分が何をしているか知ってい

るの。防衛局はこの美しいやんばるの森を、七五メートルも切り開いてオスプレイパッドを作ろうとしてるんだよ。

作業員 ……でも、職がないんすよ。

お母さん ……もっとましな仕事、給料安くてもさ、人の生活ぶち壊さないで済む仕事をしなきゃ。さぼんなさい。なるべく、あっちの人に作業してるように見せかけてさ、時間過ぎれば給料はもらえるんだから、のろのろしてた方がいいよ、ね。

アヤ それから、この少年の動きは極端に鈍くなりました。二〇一一年二月、テレビでは中東のデモが話題になっていた頃です。

ヤヨイ ユーチューブで映像を見て、えーっとのけぞりました。だってこんなことが起きてるのに、東京では全く報道されてない、この温度差は何？

アヤ 二〇一一年、高江の現状を伝えるために、ゆんたく高江で朗読劇をやることを企画し、ヤヨイちゃんにその台本を依頼しました。

ヤヨイ その朗読劇は、形を変えて兵庫、東京、そして、沖縄の北谷で上演されました。高江のことは徐々に知られていき、全国で反対の声も高まっていく様子で、工事がなくなればいいと思っていました。ですが……。

オスプレイの轟音が聞こえてくる。

アヤ 二〇一二年一〇月一日、県民の激しい抗議の声を無視して、オスプレイが普天間に配備されました。そして、その三日後には高江の空にも姿を現したのです。

イサ 県道をものすごい低空で横切っていました。え、もう、そこ？と思うぐらい近くに感じました。米国内の基準を適用すれば、こんなに自由に飛べるはずがない。

アヤ 二〇一二年、オスプレイ配備を目前にした九月九日、宜野湾海浜公園で行われたオスプレイ配備反対を訴える県民大会には、一〇万人を超える人が集まりました。また、配備直前の九月二七日から三〇日までの四日間、台風の最中、市民が普天間基地の全ゲートを封鎖しました。これは初めてのことです。そのとき現場にいた宮城康博さん。

宮城 九月三〇日、私は野嵩ゲートに座り込んでいました。多数多様な人々がゲート前の「解放区」をつくりだし、そこを維持し先に進めようと踏ん張りました。基地内からは米軍による立ち退き勧

告のスピーカー、国道側からは県警によるスピーカー。異様な雰囲気で一九時過ぎに機動隊による排除が始まりました。私を含む座り込みメンバーの全員と国会議員、弁護士、大勢の老若男女が収

容所のようなスペースに三時間も収容・監禁されました。「解放区」は弾圧され排除されましたが、

オスプレイ強行配備への沖縄の抵抗は創造され継続されています。

イサ 今の日本政府のやり方は、アメリカが戦後に沖縄の土地を無理やり取り上げた、「銃剣とブルド

ーザー」と同じね。

アヤ 高江に住む、ヘリパッドいらない住民の会のイサさん。

イサ いやだと言っているのに、しつこくしつこく、沖縄があきらめるまでやろうとする。島根で低空飛行で保育所の窓ガラスが割れたって聞きました。オスプレイは沖縄だけじゃなく、全国を飛ぶから、日本政府も放っておけないですよ。

アヤ 沖縄県知事も、議会も、東村村長も、オスプレイには反対していますよね。でも、高江に作るオスプレイパッドには反対していません。これは矛盾していると思うんですが。

イサ ＳＡＣＯ合意があるから、ヘリパッドは容認している、と言われますね。国と国との問題だから、仕方がない、と。

アヤ 国と国との問題。日本とアメリカの問題。日本と沖縄県の問題。沖縄県と東村の問題。東村と

高江の問題。だんだんと小さな集落の問題にされていく。でもそこに巻き込まれた住民の生活は？ 無力感の中で、自分に何ができるのかを、考えています。オスプレイが来てはい、おしまい、じゃ

ない。そこでの生活はずっと続いていく。

ヤヨイ 私は何を書くべきでしょうか。

アヤ 今度やるときは、いや、工事が止まってこんなことやらなくて良くなるのが一番なんだけど、ま、やるときはオスプレイが来た後の高江の姿も描いたほうがいいと思うんだよね。

ヤヨイ ええ。そうだ。ほんとは座り込みの必要も、朗読劇の必要も、なくなるのがいい。だけど、そのためにも、高江の「今」をもっと多くの人に伝えていきたい。二〇一二年一〇月末、私はミサキさんを連れて、高江に向かいました。

●高江行き

ミサキ 朝六時半の羽田発那覇行きの飛行機に乗った。レンタカーで高江に向かう。全然店ないね。

ヤヨイ ないですね。

ミサキ カレーの肉どうしよう。

ヤヨイ 共同売店があるはずなんですが……。

ミサキ 初めて足を踏み入れる北部の東側には、コンビニがなかった。その代わりにあったのが共同売店。そこには最低限の日用品や食品が並んでいた。肉ー肉ー……。

ヤヨイ ありました！ 冷凍だけど！

ミサキ 暗くなってきた頃、私たちはトゥータン家（とぅーたんやー）と呼ばれる「ヘリパッドいらない住民の会」の事務所に到着した。

ヤヨイ （鍋を覗いて）おおー！ 　おいしそう！

ミサキ　この夜はすでに食事が用意されていた。一緒に座り込みに参加するメンバーが作ってくれた鳥と野菜たっぷりの汁。住民の会のナオコさんが持って来てくれた大量のふかしたじゃがいも。それとハーブとオイルで作ったソース、島ラッキョウ。ご飯を食べて、私は心の底からほっとした。私は去年一年東京で疲れ果てていた。食べものにしても飲み水にしても、いつもどこかで放射能のことを気にしていた。でも、ここはそういうものから解き放たれている。

三線の演奏が始まる。

ミサキ トゥータン屋にはいろんな人がいた。住民の会の人、那覇から支援に来ている人、東京から支援に来ている人……。二十代から六十代まで年齢はバラバラ。食事が終わると三線やギターでミニライブが始まった。

出演者、楽器を弾き歌を披露。

ミサキ ライブは１２時過ぎまで続いた。

ヤヨイ 翌日、私たちは座り込みをするため、Ｎ１ゲートへ向かった。あれ？ ミサキさん、どこです？

ミサキ ヤヨイちゃんが私を探している頃、私はピコと一緒に米軍基地の中へ迷い込んでいた。待って！

ピコ ここだよ！ リュウのおうち。

ミサキ ここって、もしかしてヘリパッドの予定地……。

ピコ （リュウに）じゃねー。

ミサキ ピコと一緒にカメを見送る。そして、私はアスファルトの道まで戻ってきた。

ヤヨイ ミサキさん、どこ行ってたんですか。

ミサキ いや、あの、カメを。

お父さん ピコ！

ピコ お父さん！

お母さん どこ行ってたの。

ピコ リュウがね、ダニにね、食われて、血が！

お父さん もしかして、巣まで行ったのか。

ミサキ すみません。止めたんですけど。

お父さん いえいえ。

ピコ お姉ちゃん！ お父さん、ギター弾くんだよ！

ヤヨイ 　ピコのお父さんは、ギタリストなのでした。日本全国でライブをしながら、高江の現状をみんなに伝える活動をしています。

お父さん 　この道にはね、リュウキュウヤマガメや絶滅危惧種のノグチゲラが住んでるんだよ。

ミサキ 　ここって……。

お父さん 　ヘリパッド建設のためのトラックが通れるように整備しようとしているの。

ヤヨイ 　オスプレイ、来てしまいましたね。

お父さん 　なんていうかなあ、今までも何回も山があったけど、オスプレイが来ちゃったっていうことと、実際の生活を立て直さなきゃいけないっていうことがあって……。高江には小さい子供のいる家庭もあるし、マジで引越し考えなくちゃいけないのかって思うこともある。でも、ここが好き

で、げんさんみたいにこの土地を買って自分で家を建てた人もいる。たまらないよね。

お母さん なんか、オスプレイ飛んでるのを見ると、もう、膝が、がくって落ちるくらいショックで。五年も反対してきたのに、こんなにしゃあしゃあと飛ぶのかって。

ピコ 　なんでやねん、みたいな。ラジコンみたい。飛行機モード、早いよ。

ヤヨイ 　二〇一〇年の沖縄防衛局による高江住民説明会では、防衛局長はこう言ってました。

防衛局長真部 局長の真部（まなべ）です。今、沖縄全土でも一八パーセントある基地の負担が、一

四パーセントにということであればですね、それはやはり、負担の軽減、県民負担の軽減という風になると、私どもは考えております。

イサ 返還部分にあったヘリパッドを移設する、つまり新たに六個のヘリパッドを別の場所に建

てる。こういう条件ですか。

お母さん 今度のヘリパッドは、高江の集落を囲むように建つことになってる……。

ユキネ うちから三百メートルのところなんですよ。

お父さん ヘリの飛ぶ飛行ルートとかはどうなってるんですか。どんな機種が飛ぶんですか。

げんさん 　何時まで飛ぶんですか。

真部 　真部です。そういうことは防衛上の機密ですので、答えられません。オスプレイがそこで運用

されるようなことがあるということでしたら、また改めて説明会を開かせていただきます。

お母さん 　開かれなかったですよ。ジャスコだって、建てる前に住民に説明するじゃないですか。防

衛局の人たちは、オスプレイなんて来ません、わかりません、って散々言っておきながら……。配備が公表されたら、来ることになりましたからよろしくって。

ミサキ 　もうすぐ、座り込みも六年目。

お母さん 　もう、そんなになっちゃいますね。座り込み始める前にも、住民の意見を一生懸命集め、村や県に提出して、できることは全部やったんですけど。

ミサキ 全然聞き入れられなかったんですね。

お母さん 全然相手にされなくて。七月から工事って言われて、もう、どうやったら止まるのか、wa

からなくて。座り込みの始まる三日前かな、辺野古に行って、座り込みってどうするんですかー、

って聞きに行ったんですよ。

ヤヨイ その頃の記録は、お母さんたち住民の会のメンバーが書いたブログで知ることができます。

●お母さんたちの記録

ピコ 二〇〇七年六月三〇日。

お母さん ほんのついこの間まで「座り込みなんて、無理無理。人数いないし。ホント無理。絶対無理。できるわけないじゃん。」なんて言っていたのに、あっという間に、やらざるをえない状態になっているのでした。出来るのか、続けられるのか、自分達の生活はどうなるのか、高江の他の区に理解してもらえるんだろうか、気持ちがパンパンになっています。

イサ 　とにかく、始めてみること。

ゲンさん 　七月二日月曜日朝八時から、私たちは座り込みを始めます。

お母さん 　高江に来て座り込みを手伝ってください。お願いします。

イサ 　始めてみないとわからないことだらけですが、少しずつ改善していきますのでよろしくお願い

します。

ピコ 　みんなー！ 高江に来てー！

ゲンさん 　緊急の電話掛けや、インターネットを通じて、全国に呼び掛けました。そして、人数の少

ないなかで、二四時間交代体制の座り込みが始まりました。

ピコ 　七月四日。

お母さん 　やっと自分の置かれている状況が落ち着いて見られるようになってきました。朝五時からひたすら座っているのはかなりしんどいです。しかし、いざ、というとき以外は結構ヒマなのです。

ユキネ 　麻ひも持ってこようか。それでカゴ編んだり。

ピコ 　住民の会のユキネさん。

ナオコ 　編むならアクリルたわしもいいよね。

ピコ 　住民の会のナオコさん。

お母さん 　とりあえず、今日は家から洗った洗濯物を持ってきて、昨日、防衛局が作っていったＮ４地区の柵に干しました。

ピコ 　七月五日には、座り込み保育園ができました。

ナオコ 　今日は、生後一ヶ月過ぎのたっくんを筆頭に高江自主保育チームが午前中Ｎ４地区に集合。座り込みのござの上はあっという間に保育園と化したのでした。

ピコ 　高江には小中学校が一つ。小学生九名、中学生四名の計一三名の生徒がいます。

ユキネ 　子供のいないお家も学校行事に参加します。地域みんながＰＴＡなんです。

ピコ 　七月九日。

お母さん 　またもや七時前から集合がかかり、ねぼけてて日焼け止めもつけずに出かけてしまいました。ゲート前で防衛局の人らとの問答が昼前までの長時間続き、非常に緊張しました。

お父さん 　農業を営むモリオカさん。

モリオカ 　最初の頃は、当番じゃない日に家にいて、今日来るんじゃないかって思うと寝られなくて、テントに布団持って来て寝て、次の日そのまま仕事行って眠い、みたいな。ほら、白髪も増えま

したよ。

お父さん 　冷蔵庫を使わない、自給自足の生活を目指す、エッセイストのナオコさん。モリオカさんの奥さんです。

ナオコ 　二〇〇五年から、高江の自然環境に惚れこみ、田畑を借り、自分たちで家を建てて、自給足の暮らしを始めたんです。戦争にも、環境破壊にも加担しないためには、基地や原発に依存しない自給自足の暮らししかないと思っていました。でも、暮らし始めて数カ月後、高江のヘリパッド建設のことを新聞記事で見て知ったんです。すごくショックでした。

お父さん 　六人の子供を持つユキネさん。

ユキネ 　本当にこういう環境が素晴らしいなあと思って、こんなところで子育てしたいと思って引越して来たら、こういうことになってしまって、びっくりです。

ピコ 　九月一〇日。

お母さん 　本当に先週は、「今日来るか」「今日こそ来るか」と、気を張らないようにと思いながらひりひりした一週間でした。この「くるのか？」「こない」「くるのか？」「こない」の繰り返しってなんか身に覚えがあるなぁ、と思い返してみたら思い出しました！ 　陣痛でした。すいません、くだらなくって。しかし、生まれようとしているもんが悲しすぎます。

ピコ 　お母さん！

お母さん あー！

ピコ ヤンバルクイナ！

お母さん 　今日、ついに初めて見ました！ いいものみちゃった。今年はすでに二十一羽が交通事故

の犠牲になっているそうです。あの走りっぷりではなあ。もう千羽もいないそうです。今年の夏休みに天然記念物のイボイモリもみつけました。

ピコ 　恐竜さん。

お母さん 　ピコが言う通り、小さい恐竜みたいでした。手のひらにのせてもじっとしてました。やんばるの生き物たちは本当にゆっくりとした静かな森の時間で生きているんです。車が走るだけでも

信じられないぐらい暴力的なのにオスプレイなんて……。

ユキネ 　二〇〇八年一〇月一八日、東村の伊集盛久（いじゅせいきゅう）村長が、同村高江区で進む米軍のヘリパッドの移設工事に関連し「二割を犠牲にしてでも８割を生かした方がいい」などと述　　べていたことが分かりました。二割というのは高江の住民のことです。

ゲンさん 　隣のおばぁは、この事を知っているかな？ いや、言えないよ。わからん方がいいかな。おばあは、戦後生きるために仕事をもとめ高江に移り住み、やんばるの木を切り過酷な労働をして、

やっと生きた。高江の山や海のめぐみを食べて、今があります。アメリカ、日本政府によって犠牲にされ、今また自分たちの村長までもが。

お母さん 　それから、裁判が始まったんです。

ヤヨイ 　裁判……。

お父さん 　国が私たちを訴えたんです。

●裁判のこと

ナオコ 　二〇〇八年一月二五日、国は高江の住民一五名を訴えました。座り込みをしていることが通行妨害だとして、裁判所に仮処分を申し立てたんです。

ピコ 　訴えられた中には八歳の子供や、パイナップルをテントに差し入れただけの人もいました。

アヤ 　その、国、が「妨害行為」の証拠として出してきたのは、

ピコ 　なんか、ブログでー、座り込み来てって書いたやつのコピー。

げんさん 　防衛局に建設反対を申し入れた書類。座り込みについて新聞の取材に答えた記事。

ユキネ 　ポスターやＴシャツを作って販売し、活動資金に当てた記録。

ピコ 　ヘリパッドに反対しますって署名した、署名用紙。

ミサキ 　え、ちょっと待って、これのどこが証拠なの？

アヤ 　そんなのが「妨害行為」になるんだったら、非戦を選ぶ演劇人の会のメンバーはみんなひっかかっちゃいます。

お母さん 　これらを「妨害行為」とした国側の主張はほとんど退けられました。

ヤヨイ 　当たり前です！

お母さん 　那覇まで往復六時間掛かる道を、裁判所まで通わなければなりませんでした。

アヤ 　十五人のうち、二人の仮処分が決定したとの知らせがきました。

ゲンさん 　私、安次嶺現達（あしみねげんたつ）ほか十五名は、いい加減な証拠で訴えられました。その中には、私の小学生の子どもも含まれていました。子どもはとても傷ついて、怯えています。私は親として、防衛局がやったことを一生忘れることができない。許すことができない。

ユキネ 　夫を含め、二名についての通行妨害訴訟が始まりました。それと同時に私たちの生活はどんどん忙しく苦しくなっていきました。二〇一〇年七月には第六子を出産しました。畑や田んぼ、六

人の子育てに加え座り込みや様々な勉強会、集会、そして裁判。ヘリパッドの問題と裁判がなけれ

ばどれだけいろんなことができるだろう。子供たちのためにと頑張っている運動ですが、それを頑張れば頑張るほど今、目の前にいる子供たちと過ごす時間が奪われてしまうという矛盾に何度も悩

みました。

お父さん 力の強い側が金と権力を使って、弱い側のせめてもの意思表示をつぶそうとしている。

イサ 　イサです。原告側の欄には、首相や防衛大臣などの個人名ではなく、「国」の一文字が書か

れていました。「国」とは誰なのか。何なのか。私は被告として名前が挙げられていました。まるで罪を犯したかのように。

お母さん 　この二人と、取り下げられたメンバーの違いって、なんにもないんです。ただ、住民の会

の代表だったってだけ。

アヤ 　こういう訴訟はスラップ訴訟と呼ばれています。反対運動の当事者を訴え、裁判による負担を与え、運動そのものの萎縮を狙った訴訟です。

ナオコ 　現場に行ったらあんたも裁判にかけられるんだからな、ていう脅しです。

アヤ 　その後、裁判所は二名の内、安次嶺さんについては請求を棄却しましたが、イサさんについて

は通行妨害を認めたのです。

ヤヨイ 　（新聞を呼んでいる）判決では、住民が２００７年中の四日間で、計五回にわたって「物理

的」な通行妨害をしたと認めた。

ゲンさん 　私とイサさんのしてきたことは何一つ変わらない。イサさんはたまたま悪いように写真に

写っただけです。

ミサキ 　みんなもおんなじことをやっていたのに、何でイサさんだけなの？ 　よくわからない。

アヤ 　住民側の弁護団の加藤弁護士。

弁護士 　弁護士の加藤です。この裁判は極めて異常な裁判です。本来、裁判というのは 社会的な多数者、強者が権利を侵害したときに、社会的弱者が、その権利を守ってもらうために訴えるものです。裁判が、人権の砦、といわれる所以です。しかし今回の国のやり方はちがいます。国は金と権力を使い、自らの行政上の権力のみならず、司法上の権力まで使って、自らのやり方を押し通そうとしています。これは本来の裁判のあり方ではありません。

お母さん 　私は高江に住んでいますが、仕事に出ているので急になにかあっても現場に駆けつけられ

ません。沖縄防衛局員たちが一〇〇人くらいで押しかけてきたと朝六時過ぎに電話がかかってきても、私はお弁当を作って子供たちと御飯を食べて、仕事に行きます。県道を南下していると、連絡を受けて車を北に走らせている顔見知りともすれ違います。ごめんなさい、ごめんなさい、って歯をくいしばりながら、高江の森に背を向けて仕事場に向かいます。仕事の帰りには、車の中でも走

りたいほど気がせいて、大急ぎで高江に戻りますが、今度は帰っていく顔見知りの車とすれ違いま

す。現場にやっとついて、どうでした？ と私が聞くと、

ゲンさん 　いやあ、大変だったさあ。

お母さん 後で映像で見ると本当に本当にひどいのに、みんなと穏やかにお茶を飲みます。高江にもっとヘリパットが出来て、オスプレイも飛ぶのは困るって言ったら、なんで国に訴えられたり、反対派とか言われたり、胸がつぶれるような思いをしたりすることになるのか。

げんさん 　それでも、私たちは座り込みを続けました。

虫の声。

ヤヨイ 　私たちはイサさんの作業場を訪れました。

ミサキ 　イサさんは、木工の職人さんで、トートーメー？

ヤヨイ 　主に沖縄の伝統的な仏具を作る仕事をしています。

ミサキ 　わー、一つ一つ細か！ 彫刻みたい。

イサ 　今日はそんなにだけど、百個くらい注文来るときもあるよ。

ミサキ 　すごく丁寧な仕事！ 手間かかりますよね。

イサ 　そうだね。奥さんが一緒にやってくれるね。

ミサキ 　ずっと高江でやってらっしゃるんですか。

イサ 　高江に越してきてもう二〇年くらいにはなるかな。親父の代からやっていてね。はじめは沖縄市でやっていたんだけど、もっと広いところでアトリエ作ってやりたいって言って、高江に越して　きたんですよ。

ヤヨイ 　オスプレイ、来てしまいましたね。

イサ 　高江にもたまに来て、CH46と同じような訓練はやってるね。こないだみたのは、オスプレイか

ら兵士たちが次々と降りてくる。オスプレイの下降流というのはすごく熱が出るらしいよ。だから

兵士も大変だろうな、と思ってね。

ヤヨイ 　イサさんは自分の愚痴を言わない。国から訴えられて一人だけ通行妨害が認められてしまい、

係争中の今も変わらない。

イサ 　心境は特には変わらないですね。当時は十五名いたのが、最後には１人になってしまった。外

れた人も、喜べないんですね。申し訳ない、と彼らも思ってるのがわかる。そういうふうに分断して、孤立させていく、裁判の非情さを感じますよね。

ヤヨイ 　それが国のやり方なんですね。

イサ 　意識のある人は違うとわかってくれるけど、知らない人は犯罪人だと思ってしまう。飲み友達も減りましたね。やっぱりこれは勝たないと、またどこかでスラップ裁判が行われてしまう。

公共の政策に刃向かうと国民は潰されてしまう。

アヤ 　憲法２１条１項「集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。」

イサ 　私たちのやっていることは、非暴力の、表現活動、意思表示なんです。

アヤ 　憲法二五条「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」高江のへリパッド建設は、住民の生存権も脅かしている。

ヤヨイ 　夜、外に出たら、満点の星空が広がっていました。

ミサキ 　高江は本当に、星が綺麗だね。

ヤヨイ 　東京にいると見えないものがたくさん、ここでは見えるような気がします。

●座り込みレポート

目覚ましの音。

ヤヨイ 　ミサキさんをたたき起こし、朝の五時にＮ４テントに集合して、リーダーに指示された配置場所に座ります。

ミサキ 　おお、寒い。沖縄ってこんなに寒かったっけ。

支援者Ｓ この県道の両脇が、北部訓練場。米軍へ提供している立ち入り禁止区域になってる。

支援者Ｍ 　二〇一二年の七月、業者はメインゲートからすべての資材を運び入れてしまったんですね。なので、今は基地内に業者の作業員が入らないように、見張るという戦術をとってるんですよ。

ヤヨイ 　カンテラを持って、早朝から散らばって監視しています。虫の声だけが辺りに響いていまし

た。一体これがいつまで続くんだろう、みんなどういう思いでここに座っているのだろう。

アキノ隊員 　（いつのまにか現れている）そこに、オオモリゴキブリ、いますよ。

ヤヨイ 　ゴキブリ？ （恐怖におののき）やだ！ ほんとだ、カンテラの近くにいる。でかい！

アキノ隊員 　森のゴキブリは可愛いですね。

ヤヨイ 　そんなこというあなたは、昆虫博士のアキノ隊員ですか！

アキノ隊員 　リュウキュウウラボシシジミは見たことありますか。

ヤヨイ 　シジミ？ シジミですか。お味噌汁は好きです。

アキノ隊員 　およよ、沖縄本島北部と西表島のみに生息するチョウです。その生息地のなかでも　大変数の少ない準絶滅危惧種です。

ヤヨイ　チョウですか。

アキノ隊員 　チョウです。高江にはデリケートなこのチョウが生きることのできる環境が残っています。昨日はそこの道路の上に巨大ヒメハブ

君がいましたよ。運転には注意してほしいですね。

ヤヨイ （恐怖におののいて）ハブ！！ 私、蛇だめなんですよ。

アキノ隊員 　蛇というか、ああなるとツチノコ

君に近いですね。

ヤヨイ 　見たことありません！

アキノ隊員 　残念です。チョウもトカゲも米軍機が通る度に騒音で起されてしまいます。人間は森の生き物たちにそうとう迷惑をかけているんです。昨日も沖縄防衛局に抗議の電話をしました。動物

たちは電話できませんからね。

ヤヨイ 　ハワイでは、遺跡への影響や住民の反対を考慮して、オスプレイの訓練が中止されたって。

アキノ隊員 　沖縄じゃ住宅地の上、ガンガンに飛んでますよ、オスプレイ。あ、コウモリくんだ。（コ

ウモリに誘われるように去る）

ヤヨイ 　暗かった空が、徐々に明るくなってきました。とにかく寒くて、たったり座ったり、その場で回ったり、自主的に無意味な動きを繰り返していました。

ミサキ 　（離れたところから叫んでいる）ヤヨイちゃん、トイレに行きたくなっちゃったー！

ここで隠れてしたほうがいい？

ヤヨイ 　いや、クルマで送ってもらってください！

ミサキ （ほっとして）わかった！

（去る）

ヤヨイ 　トイレが離れたところにあるので、行くのに一苦労です。

支援者Ｍ 　集合だって。

支援者Ｓ 　八時頃、Ｎ４ゲートの近くから重機の動く音が聞こえて、確認したところ、もう作業員に中に入られて、作業が始まっていました。

ヤヨイ 　一体どこから入ったんでしょう。こうやってなんの説明もないままオスプレイパッドの建設が行われていく。解散した後、どっと疲労を感じました。（ミサキ、戻ってきている）

支援者Ｓ 　沖縄には膨大な基地があって、その結果、一般の仕事が本土に比べて少ない。失業率も日本で一番高い。そういう背景があるから、工事してる作業員に「仕事だからしょうがないじゃないか」って言われると、こちらも非常に苦しい気持ちになるね。

支援者Ｍ 　肉体労働している作業員は沖縄人（うちなーんちゅ）。この状況は、植民地的状況が作っているんだってお互い感じている。理解し合っているわけではないけど、お互いの立ち位置というものがみえてしまう。そういった関係を超える運動を作っていくには、どうしたらいいのか、それを考えるんだよね。

友寄 　琉球大学の友寄元樹です。なぜ、沖縄の学生が基地反対の声を上げづらいのか。それは、生まれた時から基地があるので、不思議に思わない、親戚が米軍基地で働いている、そして大きな問題として、就職ができなくなる、ということもあります。だから、本当は嫌なんだけど、声をあげることができないんです。

ヤヨイ 　住民の会の事務所に戻ると、座り込み参加メンバー達が出かける準備をしていました。

語り（ナオコ） 二〇一二年十一月二日、読谷（よみたん）で米兵の住居侵入事件発生。酔っ払ってマンションに侵入し、その場にいた中学生を殴打。

ヤヨイ 　普天間で行われるその抗議集会に行くということでした。

語り（ユキネ） その前の月の一〇月一六日未明、嘉手納町で、未明に帰宅中の成人女性が米海軍兵二人に暴行されている。

お母さん 　高江に来るメンバーのなかには、沖縄に住んで、ずっと闘い続けてきた人もいます。沖縄のことを「怒りに燃える島」って言う人いるけど、こういうことなんだって、最近思うんですよ。

怒りの根源って、悲しみだったり、するわけじゃないですか。一人一人の心の中に、一体何がはいっているんだろうって思うと、たまらない気持ちになってきますよね。

ミサキ 　ここにある基地。ここに暮らす人々。それを無視し続けたのは、日本という国。

●崩落事故

土砂の崩れる音。

語り（お父さん） 二〇一三年の年明け、ヘリパッド工事作業中のＮ４地区の現場で土砂崩れが発生。大量の赤土が流出した。

糸数慶子 　参議院議員の糸数慶子です。防衛局にも県の環境政策課にも、きちんとした調査をするよう、二月に申し入れにいきました。

語り（坂手） 　防衛局は、「崩落は大雨が原因」というような主張をして、崩落後も工事を進めたが、

語り（宮城） 事故があったと言われている一月八日前後の雨は４８ミリ、やんばるではたいした降雨量ではない。

糸数慶子 　ヘリパッド建設予定地の場所の選定、候補に誤りがあったのではないかと、私たちは考え追及しています。県の環境政策課がＮ４地区に調査に入ったとき、日米地位協定による管理権の問題で基地内での写真撮影と、サンプリングを拒否されたそうです。県が防衛局に調査報告を求めても、一ヶ月以上報告がなかった。赤土防止条例を所轄する県として、原因の究明や今後の対策について沖縄防衛局、環境保護団体、そして地元住民代表らと話し合うべきであり、少なくともそれまでには工事を中止すべきです。

語り（坂手） Ｎ４地区は県民の水がめである福地ダムともつながっており、赤土流出などによる広範囲の影響が懸念される。

糸数 　アメリカは、自分の国の土地ではかなり細かく土壌を調査し、基地を返還する際クリーンナップに二五年もかけているのに、他の国ではかなり杜撰です。

宮城 　宮城康博です。今月、六月一三日、沖縄市諸見里にあるサッカー場の工事現場の土中から、つぶれたドラム缶十数本が見つかりました。缶には人体に有害な枯れ葉剤などを製造していたアメリ

カの化学品メーカーの社名が記されていました。

語り 　このサッカー場は、嘉手納基地の区域であったものが返還された土地である。

宮城 　米国は、幾多の元兵士の証言を無視して沖縄の米軍基地に枯葉剤はなかったことにしています。

沖縄での枯葉剤の貯蔵・投棄について書かれた自国の公文書まで「間違いだった」と否定しています。これまでは、米国の発言を受けて日本政府は調査もしてこなかった。

語り 　日米地位協定４条では、米軍は施設返還に際して原状回復・補償等の義務を負わない。同時に

日本政府は米軍が造った施設に関する補償等を行わないことになっている。

宮城 　どれほど汚染されているかも日本政府は把握していない。あまりにもひどい状況です。今回こ

そは事実を徹底的に洗い出していく必要があります。ことは人々の命に関わることです。

●ニューヨーク

ヤヨイ 　アメリカに来ています。というのは、高江に行った二ヶ月後、私は演劇の研修で二ヶ月ニューヨークに滞在することになっていたんです。この機会に、アメリカの市民は沖縄の基地についてどう考えているのかを聞いてみようと思いました。（アーロンに）アーロン、

What do you think about American Base in Okinawa?

アーロン 　What? I dont know. I cant understand your meaning.

ヤヨイ 　私の英語は通じなかった。

アーロン 　君は僕に、基地に反対か、賛成かを聞いてるの？ 　アメリカは国外にたくさんの基地を持ってる。沖縄だけじゃない。その国の状況もある。その一つ一つについて、ここはいい、とかここはよくない、とか僕には判断できない。

ヤヨイ 　沖縄にはたくさんのアメリカ軍の基地がある。沖縄の住民は騒音などの大変な被害を受けて

いるの。レイプ事件も多発してる。それについて、あなたはどう考える？

アーロン 　それは、事件を起こすのはよくない。だけど、基地があることを、日本の人たちは反対してるの？

ヤヨイ 　……沖縄の人たちはほとんど反対してる。

アーロン 　でも、日本政府としては、基地があることを望んでるんじゃないの？

ヤヨイ 　……望んでいる人もいるけど、望んでいない人もいるよ。

アーロン 　望んでる人は、どうして望んでるの。

ヤヨイ 　まあ、それは、よく言われるのは中国や北朝鮮の脅威に備えるためらしいけど……。

アーロン 　それって、アメリカの問題というより、まず日本がどうしたいかの問題でしょ。

ヤヨイ 　サラはどうして日本に行ったことがあるの？

サラ 　従兄弟が沖縄にソルジャーとして勤務してるの。それで遊びに行ったわ。海が澄んでいて、とっても綺麗なところだったわ。

ヤヨイ 　沖縄では、たくさんの人が基地のために苦しんでいて、県民が分断されてるの。

サラ 　そうなの。複雑ね。

ヤヨイ 　あなたは、基地が戦争につながっていると、思わないの？

サラ 　誰かがやらなきゃいけない仕事よ。

ヤヨイ 　どうしてやらなければいけないの？

サラ 　防衛はしなくちゃいけないでしょう。

ヤヨイ 　防衛って、何を守ってるの？ 　沖縄の基地からイラクに戦争に行ってるんだよ？

帰還兵の多くはPTSDで苦しんでる。

アーロン 　ニューヨークはまだ職があるけど、田舎ではいい職がない。大学に行くために

　軍隊に入ってる人だっている。

ヤヨイ 　軍隊が経済活動に組み込まれてるって、なんか、おかしくない？

サラ 　あなたの国は、そうじゃないの？

ヤヨイ 　……。

サラ 　ライト・ウィングの首相が笑顔で戦車に乗ってる写真、ネットで出回ってるの見たわよ。ＡＢアビー？ ナショナリストの支持率が高いんでしょう？

ヤヨイ 　……私は自分の国の姿を、外から見た思いでした。

●現状

語り（ナオコ） 今年、安倍総理の提案によって、四月二八日を日本の「主権回復の日」として、式

典を行った。

語り　（ユキネ） 一九六二年のその日は、サンフランシスコ平和条約発効によって、日本は主権を回復し、同時に日米安全保障条約が結ばれた。

語り 　（ピコ） 沖縄にとっては「屈辱の日」とされていた。

イサ 　イサです。米軍基地の運用に関して、なんにも言えない。そんなの主権国家なんて、言えないでしょ。沖縄だけがんばってもだめなんですよ。沖縄だけがんばっても、政府は押し付けてくる。オスプレイも十二機また新たに持ってこようとしています。主権回復を祝う式典も、沖縄では一万人以上集まって抗議しているわけですけれども、その声が届かないわけですから。

アヤ 　基本的人権の尊重をうたう日本国憲法よりも、米軍人らの特権的地位を優先する日米地位協定が幅を利かせるのが沖縄の現実です。

語り（ナオコ） 五月一七日、自民党の発表した「防衛計画の大綱」の骨子案。

語り（ユキネ） 北朝鮮の核・ミサイル開発を踏まえ、敵基地攻撃能力の保持を検討するよう主張。

アヤ 　どんどん、この国を戦争のできる国、に変えていこうとしている。

友寄 　琉球大学の学生友寄です。僕と友人とで計三名、県議会へ陳情書を提出しました。オスプレイ配備、高江のヘリパッド建設中止を求める陳情です。二〇〇一年の同時多発テロのとき、僕は小学三年生でした。そのとき、僕たちは選挙権もなければ、政治に参加することもできない年齢でした。僕たちより若い世代の人たちに同じような状況が押し付けられないようにと、僕たちは陳情を提出したんです。でも、それが議論されることはありませんでした。すごく悔しかったです。

ヤヨイ 　Ｎ４の近くのヘリパッドが一つ完成した写真を見ました。

アヤ 　オスプレイの訓練に使われるヘリパッドの建設に一緒に反対して欲しいと、東村高江の住民五月二十二日、伊集村長に要請しにいきました。

イサ 　村長は相変わらず、「ヘリパッド計画はオスプレイを想定していない」として、建設容認の姿勢なんです。私が「もし新しいヘリパッドにオスプレイの着陸が確認できたら一緒に反対できます

か？」と尋ねたとき、十五分過ぎたので、と面談を打ち切られました。また、オスプレイ反対の村民大会開催の要請に対し村長は、東村として大会を持つ考えはないという結論になったと述べました。

お母さん 　私は最初も今も変わりなく自分の家で静かに暮らしたい。森の生き物たちも自分の森で穏やかに暮らせることが当たり前であって欲しい。いつ終わるとも知れない座り込み、先のことを考えると消耗します。あれこれ考えて何もしないより、今自分ができることをやろう。おかしいと思ったらおかしいって言おう。作られたくないから座ろう。一人じゃ無理ならみんなでやろう、簡単でいいんじゃないか、と思いました。

ミサキ 　ご飯がおいしかった。雨が優しかった。空気が澄んでいた。人が面白かった。私は、これから高江の話を誰にするだろう。そのときは自分の言葉で話したい。見たものはちゃんと伝えよう。

感じたことはちゃんと伝えよう。入れない場所なんてない。入っちゃいけない場所なんてない。ここで行き止まりって決めてたのは、ほかでもない私自身だった。

凄まじい轟音。

ピコ 　うるさいいいいい！ 　おすぷれいー！

お母さん 　うん。

ピコ 　（風を受けて）くー！ 負けないぞ……！

お母さん 　ピコ、飛ばされちゃうね。

ピコ 　お母さん、あのおすぷれい、くるくる回ってるよ。

お母さん

……おかしいね。

さらに凄まじい轟音。

お母さん 　私（わったー）村から戦争が始まる。

友寄　僕らは生まれた頃から基地があって、何も不思議と思わずに生活してきました。でも、今、僕が座り込むのは、軍隊は戦争をするものだからです。基地は、戦争につながっているからです。

イサ　がっかりしてばかりもいられないです。がっかりして何もしないでいたら、どんどんひどい状況になっていく。そうさせないためには、声を上げ続けていくしかないと思います。この六年かけて、一つしか完成させなかった、これは大きなことだと思います。

語り（坂手）　六月二五日、国がイサさんに通行妨害禁止を求めた訴訟の控訴審判決で、福岡高裁那覇支部は、通行を妨害しないよう命じた一審を支持し、イサさんの控訴を棄却しました。

お父さん　始まってすぐに「控訴を棄却する」と裁判長が言い渡して、判決理由も言わずに退廷していきました。

加藤弁護士　弁護士の加藤です。私たちはこの裁判で、住民運動はまさに、憲法上の表現の自由の行使である、そして、それに対する裁判は、その権利そのものを侵害する裁判であると訴えてきました。しかし、裁判所はその訴えを無視し、無視するという政治的な判決をしたのです。しかも、高等裁判所の判決は、住民の、憲法上の平和的生存権、表現の自由、侵害する、踏みにじるものです。極めて、不当で、悪質な判決であるといわざるを得ません。

坂手　劇作家の坂手です。表現の自由というものは、文章や映像に限られたものではありません。自由な個人が、居たい場所に、自由に存在してみせること、それ自体が表現の自由だと、思います。

國仲（いささん役の俳優）　イサさんは言っています。私たちがどうして工事を止めようとしているのかその理由が全く書かれていない。

犬養　住民が静かに暮らしたいと活動したことを通行妨害と言われたら何もできなくなる。

國仲　これは、被告が「伊佐真次」となっているけれども、僕だけの問題ではありません。

宮城　座り込む人たちみんなが同じ問題を抱えている。国策に反対を表現する人々すべてが抱えている、日本全部の問題なんです。

國仲　だから最高裁まで踏ん張ろうと思います。また、最終的な目的は裁判に勝つことじゃない、ヘリパッドを止めることですから、そこは忘れずにいたい。

あった（モリオカ役の俳優）　住民の会のモリオカさんはこう言っています。伊佐さんはトートーメーを作る職人です。この職人は沖縄でももう、何人もいない。この闘いが始まって、座り込みと裁判に時間を取られ、仕事に集中することが出来なくなって、心配です。

りさ　イトートーメーは、ウチナーンチュが年に一回か二回、必ず手を合わせて自分の先祖、自分の心に問いかける大切なものです。

まなみ　それを一つ一つ手作りで作っているイサさんがこういうことになっているんです。

あった　六月二三日、慰霊の日に誓ったように、平和を築いていく。それを自分の生活を賭けてやっているのがイサさんです。ウチナーンチュの方、日本中の方、イサさんと心を一つにして、一緒にがんばっていきましょう。

アヤ　高江支援者で、友人の阿部小涼さんはこう言っています。「一人一人の私が傷ついている。その痛みを分け合う政治を生みだそう。泣いたり、憤ったり、笑ったり、歌ったりしながら暮らす私たちの政治を、抗議のなかから発明しよう。

崎浜（お父さん役の俳優）　石原岳さんはこう言っています。あの手この手を使って、いろんな人が、いろんな方向からアプローチしていけたらいいんじゃないかって思う。俺は音楽をやってるから、それを通して語りかけていく、とかね。

ミサキ　高江のことは、高江だけの問題じゃないですから。

陽紗（お母さん役の俳優）　石原理絵さんは言っています。私の場合、世界の平和は、まず家庭からだって。

坂手　でも、それって意外と難しいんですよねえ。

ヤヨイ　わかる気がします。

まなみ　だって、平和の源は、生活を守ることであって、もっと具体的なものになってくるでしょうから。

ヤヨイ　でも、この高江では、生活を守ることが、世界の平和を守ることにつながっていますね。

陽紗　でも、高江の座り込み現場には最終的にはヘリパッド建設を止める機能ないから。

崎浜　とにかく時間かせぎして、民意を上げて、政治的解決をする以外にヘリパッド止める方法なんてないよって思うけど、現場が熱くならざるを得ない状況で。

宮城　あんまり強硬になってしまうと、他の住民の人たちの理解が得られなくなって、関係が崩れてしまったら民意も上がらない。

ヤヨイ　難しいですね。対立したいわけじゃないのに。

犬養　やっぱり、気持ちを伝えていきたいよね、新聞を作ろう、っていう話で盛り上がったんですよ。

りさ　テント座ってるだけじゃ、ここに住んでる人がいてっていう、高江の暮らしがみえづらいから。

陽紗　新月に願うと、願いことが叶うっていうのから、新月新聞っていう名前に決まったんですよ。私、何書こうかな～。

ヤヨイ　私も書きます！

**※出演者それぞれ、自分の言葉で高江へのメッセージを伝える。（今度は妻と子供連れてきます、高江までの送り迎え引き受けます。世界が高江をみています、など）**

アヤ　私は自分の想像力を駆使して、触れて、考えて、発信していこうと思います。一人一人が声をあげていくことで、この国は少しずつ変わっていく。

ミサキ　今日も高江の人たちは座り込む。ただ、ただ、座り込む。

ヤヨイ　静かに、おだやかに、暮らすために。

ミサキ　そして、世界の果てで響く銃声を止めるのもきっと彼ら、と、私たちだ。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（了）